

中学校区におけるめざすことも像 ◎自らを律し、自ら学び続ける子 自ら問題を見出し、解決する子 互いを思いやり、認め合う子 規則正しい生活と運動で、健康的な生活をおくる子

堺市立浜寺東小学校 校長 益本 里佳

令和7年度 重点目標 心身ともに健康で、「主体的」に学びに向かうこどもの育成	重点目標 ○「総合的な学力」の育成 ○豊かな心の育成 ○健やかな体の育成	○特別支援教育の推進
---	---	------------

<p>確かな学びの現状</p> <p>昨年度(R6)の『すくすくウォッチ(5・6年生対象)』において、6年生の総合学力の平均スコア(大阪府平均を100とした場合の本校の値)は、わくわく問題99.6、理科98.8、5年生は国語100.5、算数100.4、理科100.6、わくわく問題101.7と、6年生は大阪府平均の近似値、5年生は大阪府平均を上回るという結果であった。</p> <p>今年度、国語科を研究教科として設定し、『「対話」を通して学び合うこども』の育成に向け、系統的な指導に取り組みたい。また、静謐な雰囲気の中、こどもたちが真剣に学習に取り組む学習環境づくりを進め、こどもたちが学びに向かう姿勢のさらなる育成を目指したい。</p>	<p>豊かな心・健やかな体の現状</p> <p>○学校教育アンケートにおいて、「いじめは、どんな理由があってもいけないことだ」という質問に、95%が肯定的回答をしている。</p> <p>○昨年の体力テストでは、ほぼ堺市平均の結果であったが、児童の基礎体力には課題が見られる。</p> <p>引き続き、児童のさらなる体力向上を目指した取り組みを推進したい。</p> <p>○自主的な健康管理に努め、健康・安全を考えた生活習慣確立に向けた指導を推進したい。</p>
--	--

大項目	中項目	具体目標	具体的な取組 (●重点とする取組 ★中学校区での取組)	判断基準 (評価のものさし)	評価方法	評価時期	進捗確認 (～12月)	達成状況(年度末)	
								自己評価	学校関係者評価(5段階)
確かな学び	授業の改善	「浜寺東スタンダード」をふまえた学びの質の深まりを重視した授業改善を推進する。	○授業改善のための校内研修の充実。 ○低・中・高で授業研究を行い、改善点を話し合う。	・「計画的に研修が実施され、主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善に取り組んでいる」の項目において、肯定的回答が80%以上。	学校アンケート	年度末	◎ ・年度初めに現状の課題を確認した後、6月に中学年、10月に高学年の研究授業を実施した。全体の討議会で改善点を話し合った。	◎ ・「計画的に研修が実施され、主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善に取り組んでいる」の項目では、肯定的回答が95%であった。研修により教員の指導力改善が図られているものと思われる。	5
			●『「対話」を通して学び合うこどもたちの育成』を目指した授業づくり。	・「友達と交流することで考えをまとめたり、深めたりすることができる」が80%以上。	学校アンケート	年度末	○ ・毎月の研修部会において、各学年の実態や対話に関する取り組みについて共有した。8月には対話に関する校内研修を実施し、教員の授業力向上を図った。	○ ・話し方や聞き方、反応の仕方など、対話の基礎となる部分の指導を各学級で取り組んだ。また、授業の中では教師と児童の対話が多く、児童同士の対話の場をさらに積極的に取り入れていくことが今後の課題である。	4.3
	教科学力の向上	主体的・対話的で深い学びを実現し、教科学力を向上させる。	●知識技能の確実な定着、思考力・判断力・表現力の育成により各教科の資質・能力の向上を図る。 ○児童用タブレットPCを用いた効果的な指導方法を研修・実践し、ICT活用能力を育成する。	・学校アンケート「授業に進んで取り組んでいる」の項目において、肯定的回答が85%以上。 ・CBT調査「学習でパソコンやタブレットを使うのが好きですか」の項目において、肯定的回答が85%以上。	学校アンケート CBT調査	年度末	○ ・年度当初から、各学級で積極的にタブレットを活用し、知識・技能の定着や思考力・判断力・表現力の向上を目指した。ICT担当教員や夏季研修の講師を中心に研修を行い、教員の指導力の向上を図っている。	○ ・「授業に進んで取り組んでいる」の項目では、肯定的回答が89%であった。また、各教科学習においてもタブレット活用を推進し、ICT活用能力育成に取り組んだ。	4.5
			○英語指導加配教員を中心とした外国語教育の指導力向上のための研修を行う。	・CBT調査「外国語の勉強は好きですか」の項目において、肯定的回答が80%以上。	CBT調査	年度末	○ ・英語指導加配教員を中心とし、外国語の指導力向上を進めている。	○ ・「外国語の勉強は好きですか」の項目では、肯定的回答が昨年度の70%から77%に上昇した。児童が外国語の学習が楽しいと感じられる授業づくりに取り組んでいきたい。	4.3
	読書力	読書習慣の定着	○「朝の読書」の充実。学校図書館職員を活用した読書の推進(学校司書、学校図書館サポーターの活用)	・学校アンケート「本を毎日、読むようにしている」の項目において、肯定的回答が70%以上。	学校アンケート	年度末	△ ・週4回、朝の読書時間を設け、児童が読書に親しむ時間を確保している。また、学校司書、図書館サポーターの協力を得ながら、読書の習慣化を図っている。	△ ・「本を毎日、読むようにしている」の項目では、肯定的回答が昨年度の49%から57%に上昇したが、70%には達しなかった。より多くの児童が読書を習慣づけられるように、「くるりん図書」の活用や読み聞かせ等を通して読書の楽しさを感じられるようにしていきたい。	3.7
豊かな心・健やかな体	豊かな人間性の育成	互いを思いやり、認め合う優しい心を育成する。	●道徳教育・人権教育、生徒指導、児童会活動を柱として、「豊かな心」を育てる。	・学校アンケート「自分を大切にしたり、他人への思いやりが大事なことをよく学んでいる」の項目において、肯定的回答が90%以上。 ・学校アンケート「自分からあいさつをしている」の項目において、肯定的回答が90%以上。	学校アンケート	年度末	○ ・児童会活動を中心に、異学年交流、たてわり活動を行い、仲良く過ごすことを通して思いやりの心を育てる。 ・今年度、重点目標としている「あいさつ」の啓発を継続指導している。	○ ・92%の児童が「自分を大切にしたり、他人への思いやりが大事なことをよく学んでいる」の項目で肯定的回答をし、昨年度より1%上昇した。また、「自分からあいさつをしている」の項目では85%の肯定的回答であったが、昨年度より3%上昇しており、取り組みの成果はあったと思われる。	4.5
			○「いじめ防止対策基本方針」に基づき、いじめをなくす実践力を培う。	・学校アンケート「いじめはどんな理由があってもいけないことだと思う」の項目において、肯定的回答が90%以上。	学校アンケート	年度末	◎ ・毎月の委員会で、いじめ案件を確認の上、必要に応じてケース会議を実施し、早期発見・対応に努めている。 ・学期に1回、いじめアンケートを実施し、それをもとに「いじめ対策委員会」を開き、実態の把握、改善に努めている。	◎ ・97%の児童が「いじめはどんな理由があってもいけないことだと思う」と回答し、昨年度より2%上昇した。今後も、いじめ対策委員会を中心に早期発見、早期対応を心がけ、学校全体で取り組んでいきたい。	4.8
	体育・健康に関する指導の充実	体育科学習を充実させ、体力の向上を図るとともに、健康・安全な生活をめざす児童を育成する。	○「体育指導の手引」を活用し、体力テストに向けた技術の向上。 ○年間を通じた体力づくりの取り組み。	・体力テストの結果から総合的に判断。 ・なわとび週間やかけあし朝礼の実施。	新体力テスト	1学期末 年度末	○ ・立ち幅跳びは男女共に堺市平均を上回った。 ・かけ足朝礼の実施。	○ ・体力づくりの取り組みとしてかけ足朝礼、かけ足記録会(2学期)、リズムなわとび練習、なわとび検定(3学期)を実施した。体力向上を図るため、今後も継続して取り組んでいきたい。	4.3
		○食育の充実を図るとともに、保健指導により健康・安全な生活習慣を確立する。	・CBT調査「朝ごはんを毎日食べていますか」の項目において、肯定的回答が90%以上。 ・生活指導調査のハンカチ等調べで80%以上。	CBT調査 生活調査	年度末	○ 給食：栄養教諭により、全学級1回、食育指導をしている。 保健：保健指導実施。生活指導調査実施。	○ ・「朝ごはんを毎日食べていますか」の項目で肯定的回答が91.4%だった。生活指導調査では79%の児童が携行することができていたが、さらに推進し、衛生面の向上を図りたい。	4.3	
地域協働	信頼される学校づくり	静謐な教育環境で「総合的な学力」を育み、地域とともに歩むチーム学校づくりを進める。	★学校群の教育目標を踏まえ、学校群推進組織の構築と取組の検討を行う。 ○自主学習のノート指導を行い、自分の関心・興味から思考・表現する力を育てる。	・学校群推進組織の進捗状況を総合的に判断。 ・学校アンケート「宿題のほかに自分から進んで家庭学習をしている」の項目において、肯定的回答が70%以上。	実践報告 学校アンケート	年度末	○ ・定期的に学校群推進会議を開いた。夏季研修として小中合同研修、10月には中学校の授業を参観し、意見交流会を開いた。 ・自主学習ノートを各学級で定期的に宿題として取り組んでいる。また、良い取り組みが見られるノートを職員室前に掲示し、児童が参考にする機会としている。	○ ・それぞれの担当毎に意見交流を行い、3校で目指すことも像に向けての取り組みを共有することができた。 ・自主学習については「宿題のほかに自分から進んで家庭学習をしている」の項目では、肯定的回答が60%であった。宿題としての取り組みは実践しているため、さらに興味・関心を引き出す工夫をすることが課題である。	4
			○学校ホームページ、校報などを活用し、教育活動の現状と成果の発信や、地域行事への積極的な参加に努める。	・学校ホームページを毎日更新したり、地域行事への参加を可能な範囲で促したりする。	実践報告	毎月	○ ・学校ホームページ、校報を通して日々の教育活動、学校の取り組みなどを発信している。また、ふれあいカーニバル等地域行事への積極的な職員参加を進めている。	○ ・学校ホームページでは、児童の日々の学習の様子や行事へ取り組む姿などを広く伝えることができた。また、多くの児童が参加する地域行事には、職員も参加し、児童や地域の方と交流する良い機会とすることができた。	4.7

校長より(年度末)	<p>学校関係者評価者から(年度末)</p> <p>・学校群については3校連携し、推進してもらいたい、学校群による成果を示してほしい。また、取り組みを推進することによる職員への業務負担が心配である。</p> <p>・朝食の摂取、家庭学習の定着については指導を継続してもらいたい、各家庭での理解、協力を進め、学校・家庭一体で取り組む必要があると思う。</p>
-----------	--